

近世から平成まで、日本の科学史上に登場する人物を網羅

事典 日本の科学者

—科学技術を築いた5000人

板倉聖宣 監修

A5・1,020頁 定価(本体17,000円+税) ISBN978-4-8169-2485-9 2014年6月刊行



9784816924859

近世以降の科学者を俯瞰できる
初の人名事典！

- 江戸時代初期～平成にかけて活躍した物故科学者を収録した人名事典です。和算家・暦学者・本草家など近世の科学者、自然科学の研究者、工学者、技術者、医学者、科学史家など幅広く収録しています。
- 各人物は五十音順に排列、専門分野、生没年月日、出身地、肩書、学歴、経歴、受賞歴など詳細なプロフィールを掲載しました。
- 巻末付録として「生年順人名一覧」「専門分野索引」「(理系の)学士院会員・文化功勞者一覧」付き。

【収録例】

朝香鉄一(管理工学者)/伊谷純一郎(霊長類学者)/池田敏雄(コンピュータ技術者)/伊藤清(数学者)/大河内正敏(造兵学者)/狩野亨吉(科学史家)/神戸伊三郎(理科教育家)/古賀逸策(電気工学者)/坂口謹一郎(農芸化学者)/四手井綱英(林学者)/渋川春海(天文暦学者)/代田稔(細菌学者)/関孝和(和算家)/杉田秀夫(土木技術者)/千石正一(動物学者)/外村彰(物理学者)/武見太郎(医師)/長岡半太郎(物理学者)/平賀讓(海軍造船中将)/藤田哲也(気象学者)/古畑種基(法医学者)/堀内利国(陸軍軍医)/堀越二郎(航空技術者)/前野良沢(蘭学者)/萬年甫(解剖学者)/三島徳七(冶金学者)/吉田富三(病理学者) …etc.

内容見本

戸塚 洋二 とつか・ようじ

物理学者東京大学名誉教授・特別栄誉教授高エネルギー加速器研究機構長

1942年(昭和17年)3.6～2008年(平成20年)7.10 〔團〕素粒子物理学 〔區〕静岡県富士市 〔學〕東京大学理学部物理学科〔1965年〕卒、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻〔1972年〕博士課程修了理学博士(東京大学)〔1972年〕〔歴〕1972年東京大学理学部助手、1979年助教授を経て、1987年教授。1988年同大宇宙線研究所教授、1997年～2001年所長。また1995年～2002年同研究所附属の神岡宇宙素粒子研究施設長。2002年高エネルギー加速器研究機構教授を兼務、2003年～2006年機構長。2004年同機構は大学共同利用機関法人に改組。1996年岐阜県神岡町(現・飛騨市)の神岡鉱山の地下1000メートルに巨大観測装置・スーパーカミオカンデを建設、宇宙線が大气に衝突して発生するニュートリノの観測に従事。

子物理』『地底から宇宙をさぐる』『がんと闘った科学者の記録』などがある。〔圖〕紫綬褒章〔2001年〕、文化勲章〔2004年〕〔賞〕文化功勞者〔2002年〕、仁科記念賞(第33回)〔1987年〕「超新星爆発に伴うニュートリノの検出」、朝日賞(1987年度・1998年度)〔1988年・1999年〕「超新星からのニュートリノ検出」「ニュートリノに質量があることを発見」、井上學術賞(第7回、1990年度)〔1991年〕「ニュートリノ天体物理“特に太陽ニュートリノ”の研究」、パノフスキー賞〔2002年〕、藤原賞(第43回)〔2002年〕「大气および太陽ニュートリノの観測によるニュートリノ振動の発見」、富士市名誉市民〔2002年〕、神岡町名誉町民〔2002年〕、フランクリンメダル〔2007年〕、文芸春秋読者賞(第70回)〔2009年〕「あと三カ月死への準備日記」

監修者略歴 板倉 聖宣 いたくら・きよのぶ

1930年東京・下谷生まれ。東京大学教養学部卒。1959年より国立教育研究所に勤務、1963年仮説実験授業を提唱。科学教育に関する研究を多数発表する。1995年国立教育研究所を定年退職。2013年から日本科学史学会会長を務める。著書に『長岡半太郎』(朝日新聞社)『模倣の時代(上下)』『かわりだねの科学者たち』『科学者伝記小事典』(以上仮説社)などがある。

2016.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■書店名	注文書	事典 日本の科学者—科学技術を築いた5000人	冊
		定価(本体17,000円+税) ISBN978-4-8169-2485-9	
■お名前			